

# 漁 海 況 速 報

7-No. 35

茨城県水産試験場  
漁業無線局

令和7年11月21日～11月27日

電話 (029) 273-7911  
FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

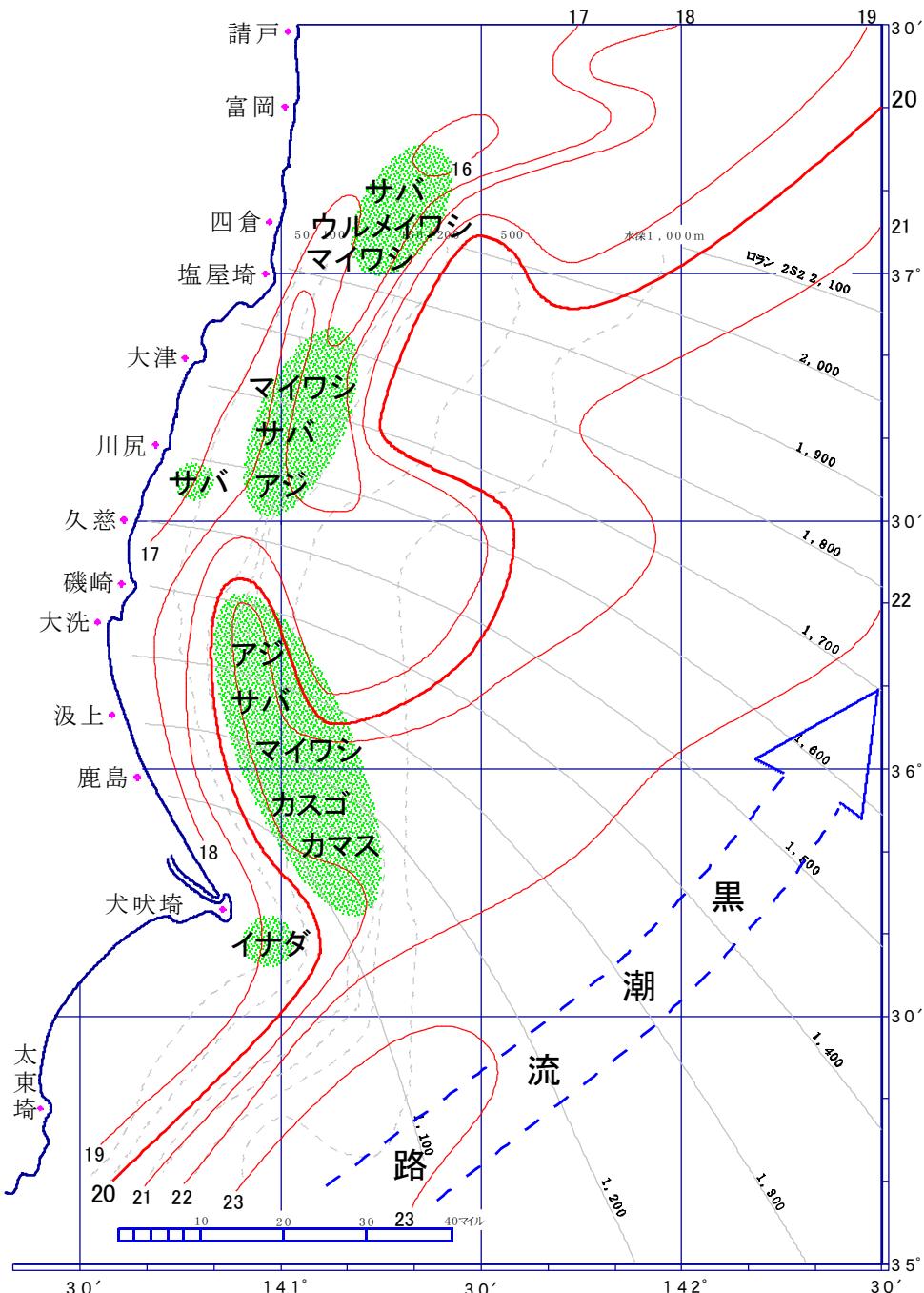
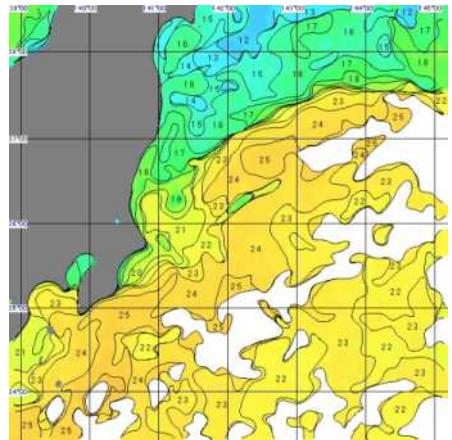
那珂湊定地水温 (℃)

日	年 7	令 6	平年
11/21	16.7	18.9	16.2
22	17.0	19.3	16.1
23	16.9	18.8	16.0
24	16.8	18.5	15.9
25	16.8	18.2	15.8
26	16.4	18.7	15.7
27	16.1	19.5	15.6
平均	16.7	18.8	15.9

30年平均: 1991～2020年

令和7年11月21日～11月27日

【1週間合成衛星画像】



## 漁況の特徴

7-No.35

属地、単位=四捨五入

11/20~11/26

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
シラス	船曳網	大津	717	839	601,450	8
	"	久慈浜丸小	1,870	1,390	2,599,174	16
	"	久慈町	2,024	1,526	3,089,035	18
	"	那珂湊	157	1,442	226,400	2
	"	大洗町	15,691	1,467	23,011,579	120
	"	はさき	2,237	1,462	3,270,790	16
ヒラメ	小底5t以上	平潟	109	570	61,881	
	"	久慈町	18	942	16,870	
	"	那珂湊	43	1,475	62,990	
	その他釣り	平潟	113	1,624	183,722	
	"	大津	123	1,453	179,020	
	"	川尻	227	1,560	354,240	
	"	久慈町	47	1,276	59,820	
	"	那珂湊	228	1,813	413,785	
	"	大洗町	163	2,555	416,000	
	大型定置網	会瀬	7	1,777	13,152	
タイ類	小底5t以上	平潟	962	162	155,306	
	"	久慈町	34	316	10,800	
	"	那珂湊	693	341	236,375	
	その他釣り	大津	16	578	9,070	
	"	大洗町	42	1,018	42,230	
スズキ	大型定置網	会瀬	699	657	459,039	
	その他釣り	大洗町	184	641	118,019	
アナゴ	小底5t以上	平潟	64	446	28,546	
	"	久慈町	208	498	103,740	
	"	那珂湊	125	1,085	135,760	
アンコウ	小底5t以上	平潟	60	1,535	91,783	
	"	大津	21	1,145	23,820	
	"	川尻	14	800	11,200	
	"	久慈町	402	812	326,220	
	"	那珂湊	156	1,223	190,540	
ホウボウ	小底5t以上	平潟	253	491	124,189	
	"	久慈町	32	121	3,880	
	"	那珂湊	100	414	41,185	
フグ類	小底5t以上	平潟	10	1,065	10,432	
	延繩	大洗町	51	2,148	109,750	
スルメイカ	小底5t以上	平潟	7,135	961	6,854,278	
	"	大津	(126)	23,942	(山壳) 3,016,680	
	"	川尻	1,052	887	932,905	
	"	久慈町	2,805	918	2,573,725	
	"	那珂湊	823	801	659,070	
ヤリイカ	小底5t以上	平潟	1,700	739	1,256,060	
	"	大津	(97)	3,392	(山壳) 329,373	
	"	川尻	256	560	142,990	
	"	久慈町	211	582	122,540	
	"	那珂湊	254	786	199,285	
マダコ	小底5t以上	平潟	10	510	5,001	
	"	那珂湊	14	1,313	17,850	
マアジ	小底5t以上	平潟	1,030	83	85,188	
	"	大津	(22)	1,758	(山壳) 37,795	
	"	川尻	8	200	1,560	
	"	久慈町	206	108	22,130	
	"	那珂湊	351	303	106,203	
サバ	小底5t以上	平潟	1,460	33	48,000	
	"	大津	(57)	1,232	(山壳) 70,072	
	"	久慈町	15	47	716	
	"	那珂湊	15	160	2,370	
	その他釣り	大洗町	5	120	600	
	大型定置網	会瀬	466	319	148,786	
	まき網	大津	1,342	150	201,300	
ブリ類	小底5t以上	川尻	16	255	4,110	
	その他釣り	久慈町	22	152	3,290	
	"	那珂湊	7	576	4,090	
マイワシ	小底5t以上	那珂湊	48	456	21,732	
	サンマ	棒受網	大津	23,411	137	3,209,460

注 延隻数: 銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山壳」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

## まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・塩屋崎の東北東20マイル付近で30~35トン、大津の東南東20マイル付近から久慈浜の東20マイル付近で5~50トン、犬吠埼の東10マイル付近で1~120トン、良い船で200トンの漁獲。

サバ・・・岩手久慈の南東20マイル付近で1トン(1ヶ統)、塩屋崎の東北東25マイル付近で1~30トン、大津の東20マイル付近から久慈浜の東15マイル付近で1~25トン、鹿島の北東15マイル付近から犬吠埼の東北東15マイル付近で1~20トンの漁獲。

アジ・・・大津の東南東20マイル付近で1~2トン、鹿島の東10マイル付近から犬吠埼の東10マイル付近で1~20トンの漁獲。

ウルメイワシ・塩屋崎の東北東25マイル付近で1トン(2ヶ統)の漁獲。

イナダ・・・気仙沼の東北東15マイル付近で1~5トン、犬吠埼の東南東10マイル付近で1トン(2ヶ統)の漁獲。

カマス・・・犬吠埼の東北東10マイル付近で1~50トンの漁獲。

カスゴ・・・犬吠埼の北北東10マイル付近で1トン(1ヶ統)の漁獲。

## 小型船

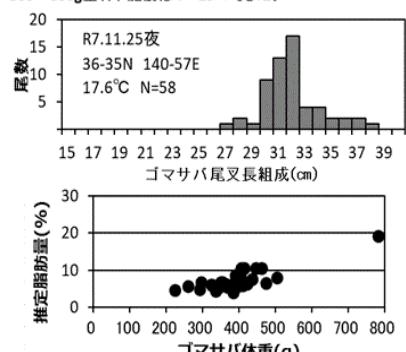
(漁獲は1隻当り)

◇船曳網  
シラス・・・大津地先から磯原地先で10~151kg、日立地先で49~185kg、大洗地先から鉢田地先で8~441kg、波崎地先で56~439kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先から磯原地先で100~485kgの漁獲。

◇曳釣り  
平潟地先でヒラメ3~5kg、久慈浜地先から大洗地先でヒラメ1~30kg、イナダ1~5kg、マゴチ1~3kg、那珂湊冲でメジ3~25kgの漁獲。

☆日立沖、鉢田~神栖沖でサバ類を漁獲(まき網)  
日立沖、鉢田~神栖沖でサバ類の漁場が形成され、11月26日朝、25トンが水揚されました。日立沖ではゴマサバ主体で、サイズは尾叉長27~38cm、モード31~32cm、体重220~780g、300~350g主体、脂肪は4~19%でした。



# 水産の窓

7 - No. 21

令和7年11月28日

茨城県水産試験場

## 鹿島灘はまぐりの資源状況

鹿島灘はまぐり（以下、はまぐり）は大洗以南の本県沿岸漁業の重要対象種です。その資源量は、数年に一度おこる大規模な発生に支えられています。現在の資源は、H31年（R元年）以前に生まれたはまぐり（以下、H31年以前の年級群）とR2年級群、R4年級群を主体に構成されています。

水産試験場では、はまぐりの資源状況を評価するため、漁業調査指導船「せんかい（4.9トン）」による採集調査を行っています。今年の調査は、大洗町から神栖市にかけて約4km間隔で設定した18地先の91定点（距岸200～1,600m）において、5～11月に実施しました。各定点では調査用小型貝桁網（桁幅56cm、爪間隔24mm）を最大10分間曳網し、曳網面積当たりの分布密度を求め、鹿島灘におけるはまぐりの資源個体数及び資源重量を推定しました。

### （1）地先ごとのはまぐり平均分布密度

殻長70mm未満のはまぐりは、大洗町浜欠（40HL南）の密度が最も高く（12.3個/m<sup>2</sup>）、ほかにもサンビーチ南（40HL北）、鉾田市滝浜、鹿嶋市明石、平井にも高密度（2.0個/m<sup>2</sup>以上）に分布していました（図1）。殻長70mm以上のはまぐりは、鹿嶋市明石、平井、神栖市松下、波崎といった地点に高密度に分布していました。

昨年と比較すると、密度の高い地点は大きくは変わらず、全体的に密度が高くなっている様子が確認されました。

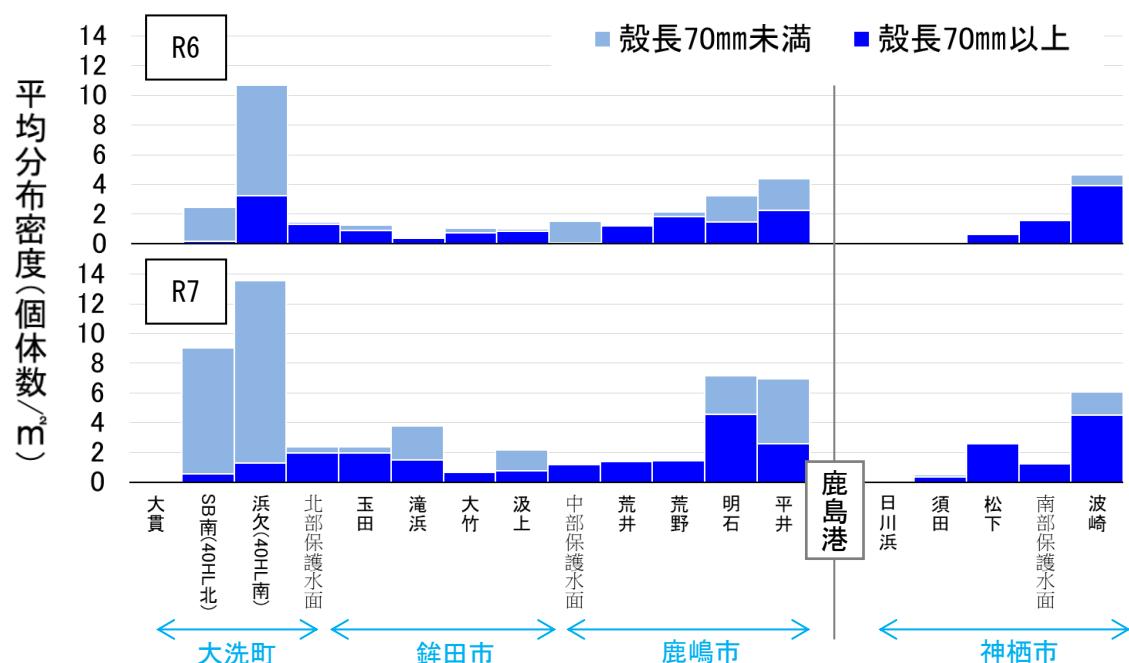


図1 地先ごとのはまぐり平均分布密度

## (2) 裸長組成

調査で採集されたはまぐりの裸長組成は、裸長 66mm をモードとする R2 年級群が最も多く、それより大きい裸長 76mm 以上の H31 年以前の年級群も採集されました（図 2）。また、昨年は 30mm 程度であった R4 年級群は、裸長 52mm 前後に成長しました。

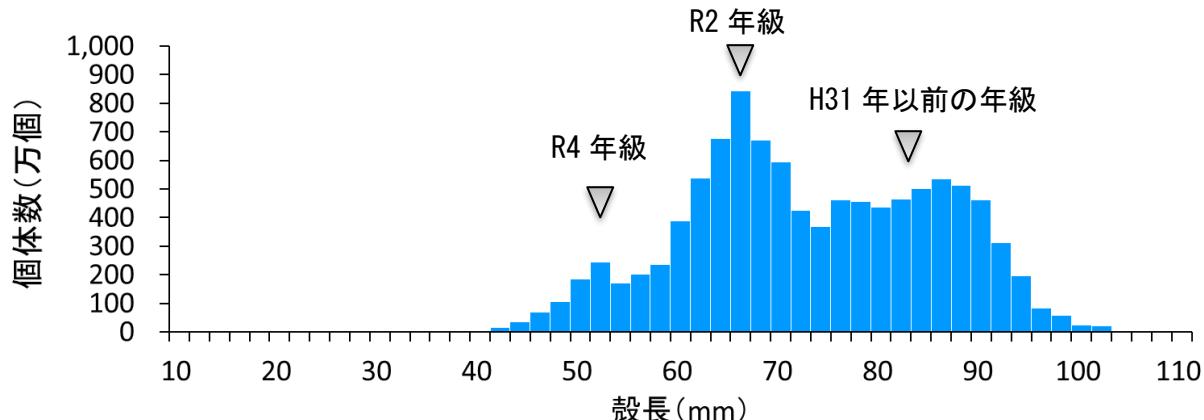


図 2 はまぐりの裸長組成

## (3) 鹿島灘全体のはまぐりの推定資源量

以上の調査結果から、R7 年の推定資源個体数は 10,317 万個、推定資源重量は 10,368 トンで、H13 年以来 24 年ぶりに 1 万トンを超えるました（図 3）。前年（R6）の推定資源量（資源個体数 5,973 万個、資源重量 6,383 トン）と比較すると、個体数、重量ともに大きく増加しました。資源が増加した理由としては、R4 年級群が成長し漁場に加入了こと、成長した R2 年級群の個体重量が増加したことが考えられます。

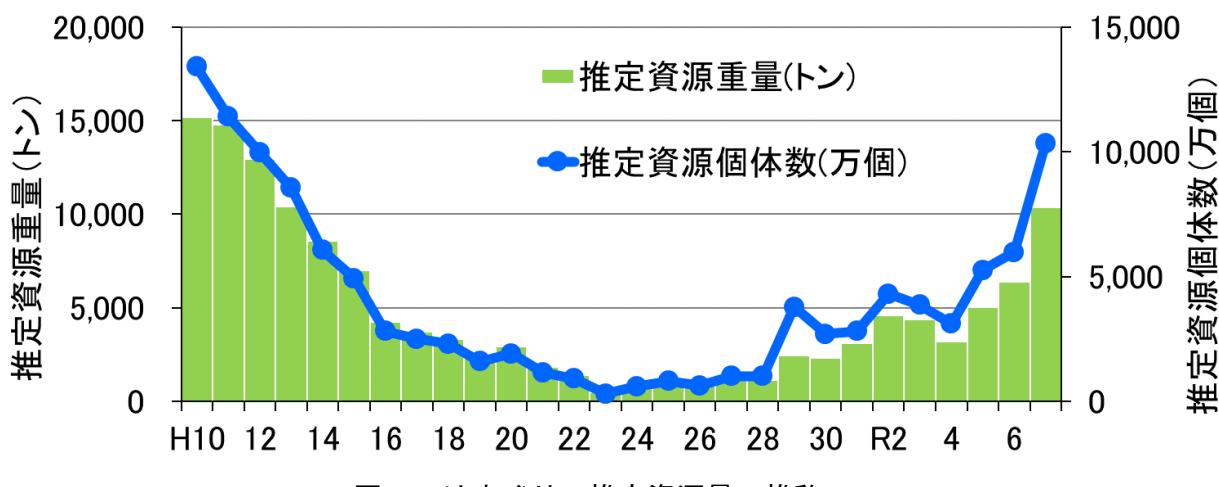


図 3 はまぐりの推定資源量の推移

これまではまぐりは、漁業調整規則による漁具の制限等のほか、輪番制やプール制といった漁業者による自主的な資源保護の取組が行われてきました。その努力の結果、資源は順調に増加してきています。今後は、増えた資源をいかに有効に利用するかが課題となります。

水産試験場では、資源を大切に守りながら効果的に操業できるよう、引き続き資源評価などを通じて漁業者の皆さまをサポートできるよう取り組んでまいります。

（定着性資源部 多賀 真）

【次回予告】令和 7 年 12 月 5 日発行の水産の窓は「今季のマダコ漁の予測」を予定しています。